

2023年11月3日(金・祝)OPEN

本をひらけば
たのしい世界
かどろに



館長
角野栄子



魔法の文学館

Kiki's Museum of Literature



江戸川区角野栄子児童文学館
Edogawa City Eiko Kadono Museum of Children's Literature

【開館時間】9:30～17:30(最終入館16:30) 【休館日】火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

【入館料】一般(15歳以上)700円(500円)(税込)、子ども(4歳～中学生)300円(200円)(税込)

※〈〉内は江戸川区在住・在勤・在学者割引料金です。入館の際に証明できるものをご提示ください。

※3歳以下は無料です。高齢者割引はありません。

※障がい者は半額、介助者は1人まで無料となります。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。

日時指定予約制

当館では入館日時を
インターネット予約にて受け付けます。
詳細はチラシ裏面・公式サイトをご確認ください。





魔法の文学館は、『魔女の宅急便』の作者として知られる

江戸川区ゆかりの児童文学作家・角野栄子さんの作品と功績を多くの方々に知っていただくとともに、未来を担う子どもたちが児童文学に親しみ、豊かな想像力を育む場となることを目指した児童文学館です。

なぎさ公園の丘に建つ隈研吾氏の設計による純白の建物の中には、

『魔女の宅急便』の舞台「コリコの町」をイメージした、いちご色の世界が広がり

子どもたちは自由に本を選び、館内の好きな場所や緑豊かな公園で、お気に入りの本を読むことができます。



本は目に見えない
不思議な力を持っています。
読む人の心に寄り添い、
一生涯励まし続ける、
魔法の力です。



この文学館を訪れた皆さんが、
自分だけの魔法を見つけて、
家に持って帰ってくれたら、
こんなにうれしいことは
ありません。



●ライブラリー

「おうち形」の本棚に囲まれたライブラリー。子どもたちの自主性を活かすべく、世界の児童書や絵本が取揃えてあまり分類せずに配架されています。



●黒猫シアター

廊下の先にある隠れ家のような4面映像のシアター。「おばけのアッチ」や「リンゴちゃん」が登場するインタラクティブなプログラムが体験できます。



●栄子さんのアトリエ

栄子さんの仕事場を模したコーナーです。デスクの上には直筆原稿や絵具などの文房具が置かれ、棚には愛読書や旅先で集めた美しい小物が並べられています。



●ギャラリー

児童文学に関する企画展を半年ごと開催します。第1回展は、栄子さんの魔女人形のコレクションを紹介する「魔女まじよ展」です。(2024年4月8日まで)



●ショップ

可愛いキャラクターグッズや栄子さん愛用のアトリエコートなど、ここにしかないオリジナルグッズがいっぱいのショップです。



●カフェ・キキ

旧江戸川を望む見晴らしの良いカフェ。栄子さんの本に登場するスペシャルメニューが楽しめます。



【予約受付】

- 当館では入館日時をインターネット予約にて受け付けます。
- 予約方法は、抽選式と先着順を組み合わせています。
- 抽選式は2週間後から2ヵ月先まで申し込むことができます。
- 直近の2週間は、受け入れ人数に余裕があれば先着順に予約を受け付けます。
- 詳細は公式サイトでご確認ください。

【当日受付】

予約状況に余裕がある場合は、館の窓口にて予約なしで受け付けます。受付状況は公式サイト「当日受付状況」でご確認ください。

【交通案内】

- 東京メトロ東西線「葛西駅」から
都営バス[葛西21]にて約10分
「魔法の文学館入口(南葛西第二小学校前)」下車、徒歩5分
都営バス[葛西24]にて約10分「なぎさニュータウン」下車、徒歩5分
- JR京葉線「葛西臨海公園駅」から
都営バス[葛西21]にて約10分
「魔法の文学館入口(南葛西第二小学校前)」下車、徒歩5分
- 魔法の文学館来館者用駐車場 駐車台数34台(うち2台身障者用)
24時間の最初の1時間200円/以降1時間ごとに100円
※11月3日(金・祝)から「南葛西第二小学校前」のバス停の名称が「魔法の文学館入口(南葛西第二小学校前)」に変更となります。

魔法の文学館(江戸川区角野栄子児童文学館)
〒134-0085 東京都江戸川区南葛西7-3-1 なぎさ公園内
TEL 03-6661-3911(代表)



インターネット予約・
当日受付状況のご確認はこちら